

【福祉サービス等について】

問 3 7. 障害福祉等に関する情報の入手先について、あてはまるものすべてに○を付けてください。

「友人・知人」が 52.2%と最も多く、次いで「学校」が 45.7%、「児童発達支援施設」が 37.0%となっている。

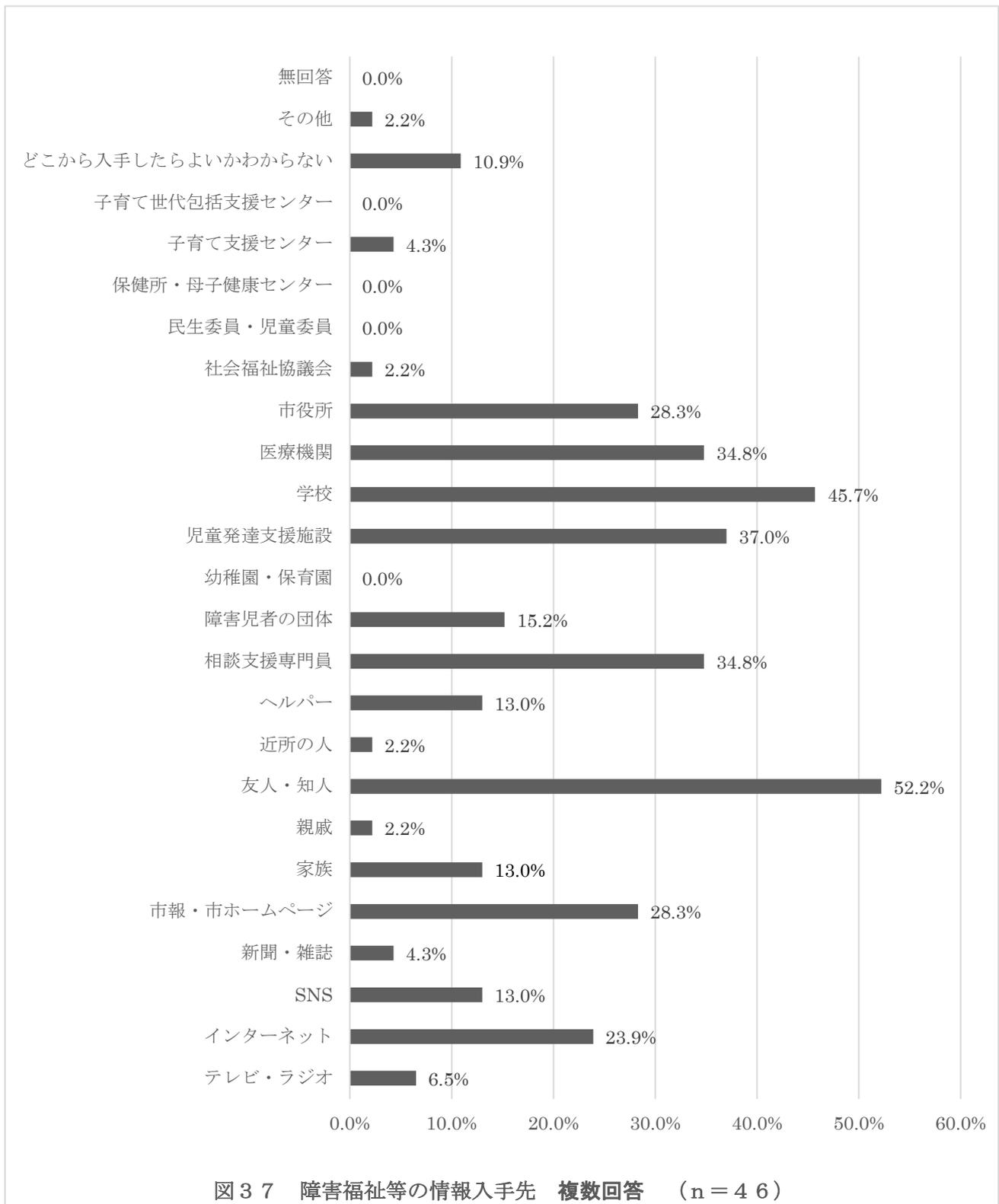
表 3 7 障害福祉等の情報入手先 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

テレビ・ラジオ	インターネット	SNS	新聞・雑誌	市報・市ホームページ	家族	親戚	友人・知人	近所の人
3	11	6	2	13	6	1	24	1
6.5	23.9	13.0	4.3	28.3	13.0	2.2	52.2	2.2

ヘルパー	相談支援専門員	障害児者の団体	幼稚園・保育園	児童発達支援施設	学校	医療機関	市役所	社会福祉協議会
6	16	7	0	17	21	16	13	1
13.0	34.8	15.2	0.0	37.0	45.7	34.8	28.3	2.2

民生委員・児童委員	保健所・母子健康センター	子育て支援センター	子育て世代包括支援センター	どこから入手したらよいかわからない	その他	無回答
0	0	2	0	5	1	0
0.0	0.0	4.3	0.0	10.9	2.2	0.0



<その他>

- ・障害者支援センター
- ・デイサービス

問38. ご本人と家族・介護者が必要だと思う障害福祉等に関する情報について、あてはまるものすべてに○を付けてください。

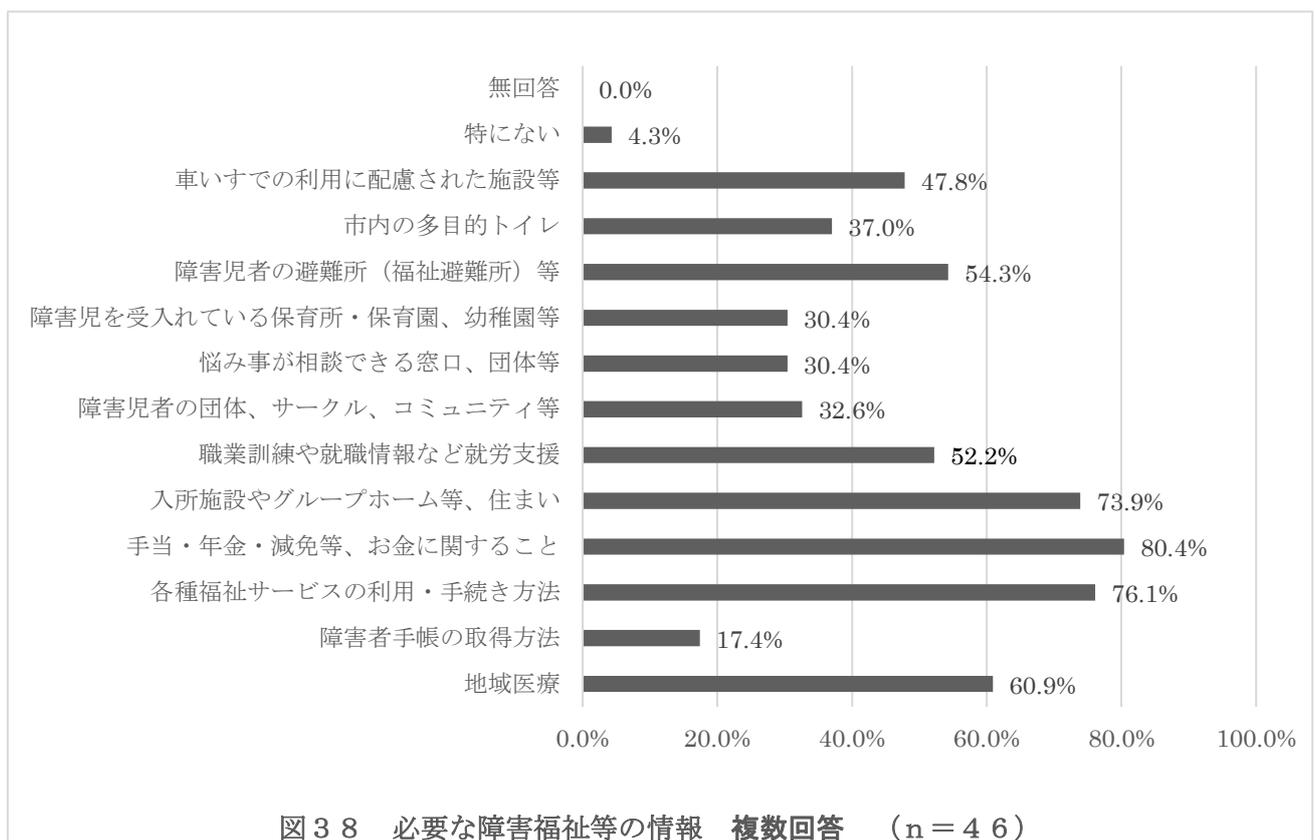
「手当・年金・減免等、お金に関することについて」が80.4%と最も多く、「各種福祉サービスの利用・手続き方法について」が76.1%、「入所施設やグループホーム等、住まいについて」が73.9%となっている。

表38 必要な障害福祉等の情報 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

地域医療について	障害者手帳の取得方法について	各種福祉サービスの利用・手続き方法について	手当・年金・減免等、お金に関することについて	入所施設やグループホーム等、住まいについて	職業訓練や就職情報など就労支援について	障害児者の団体、サークル、コミュニティ等について	悩み事が相談できる窓口、団体等について
28	8	35	37	34	24	15	14
60.9	17.4	76.1	80.4	73.9	52.2	32.6	30.4

障害児を受入れている保育所・保育園、幼稚園等について	障害児者の避難所（福祉避難所）等について	市内の多目的トイレ（ユニバーサルベッド・オストメイト等）について	車いすでの利用に配慮された（公共・商業）施設等について	特にない	無回答
14	25	17	22	2	0
30.4	54.3	37.0	47.8	4.3	0.0



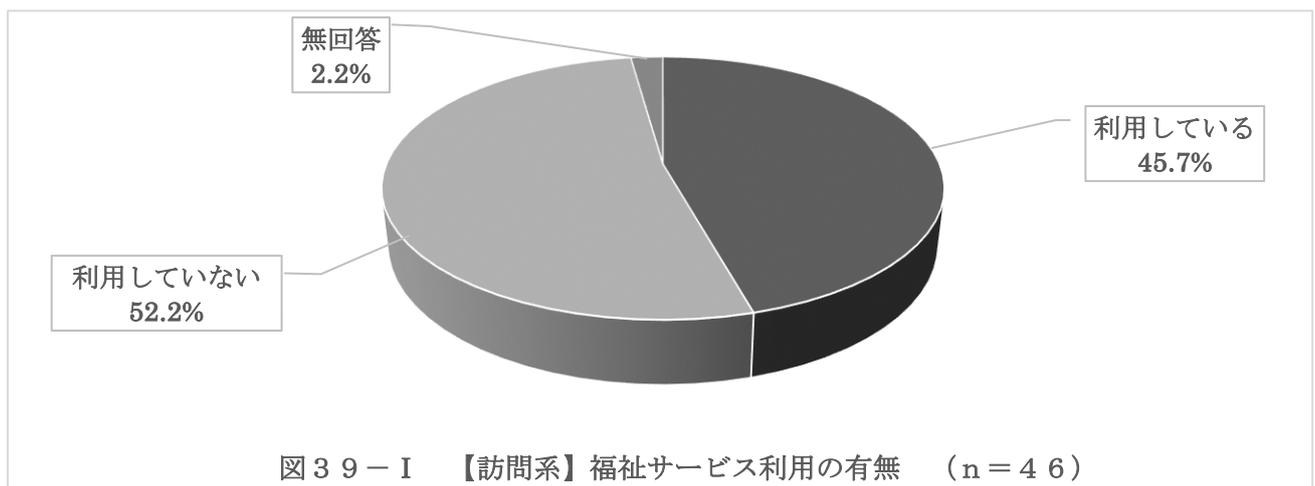
問39. 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言前（2020年4月6日以前）のご本人が利用している【訪問系】福祉サービス等について、あてはまるものすべてに○を付けてください。1～11を選ばれた方は、利用日数を記入し、日数の単位1つに○を付け、利用事業所数を（ ）内にご記入ください。「1. 居宅介護」、「12. 受給者証等はあるが利用していない」を選ばれた方は、（ ）内のあてはまるすべてに○を付けてください。

「利用している」が45.7%になっている。

表39-I 【訪問系】福祉サービス利用の有無

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

ひとつでも利用している	全く利用していない	無回答
21	24	1
45.7	52.2	2.2

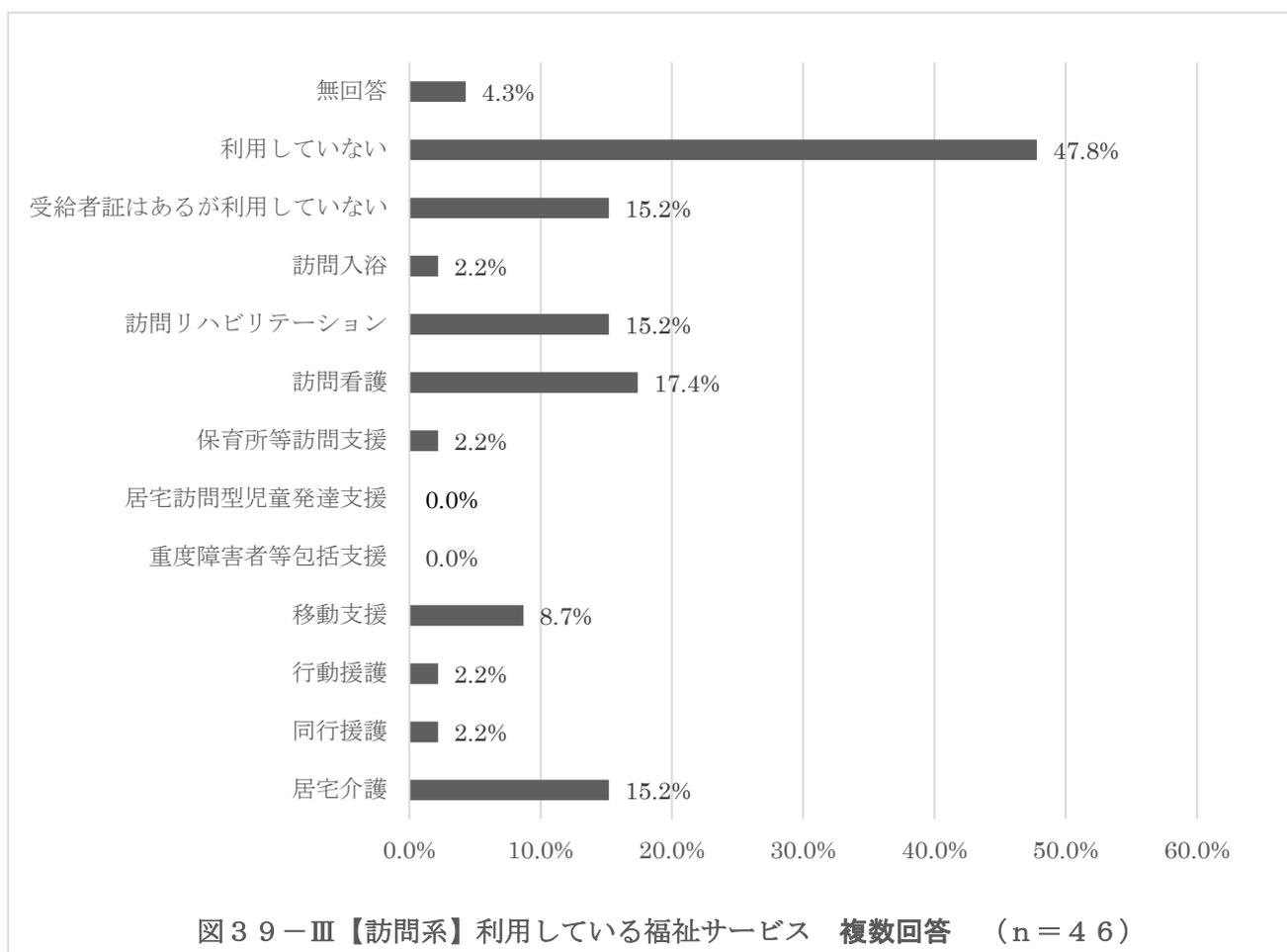


「訪問看護」が17.4%となっており、次いで「居宅介護」「訪問リハビリテーション」が共に15.2%となっている。

表39-III【訪問系】利用している福祉サービス 複数回答 <上段：回答者数(人) 下段：構成比(%)>

居宅介護	同行援護	行動援護	移動支援	重度障害者等包括支援	居宅訪問型児童発達支援	保育所等訪問支援	訪問看護	訪問リハビリテーション	訪問入浴
7	1	1	4	0	0	1	8	7	1
15.2	2.2	2.2	8.7	0.0	0.0	2.2	17.4	15.2	2.2

受給者証はあるが利用していない	利用していない	無回答
7	22	2
15.2	47.8	4.3



「居宅介護」を年齢別でみると「0～3歳」「4～6歳」の未就学児では利用されていない。

「7～9歳」「10～12歳」の小学生、「13～15歳」「16～18歳」の中高生になると利用がはじまる。

その中でも「入浴介助」は、「7～9歳」「10～12歳」の学齢児で100.0%、「13～15歳」「16～18歳」の中高生で80.0%となっている。

表39-IV【訪問系・居宅介護】利用している福祉サービス（年齢別）複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

区分	食事介助	排泄介助	更衣介助	入浴介助	移乗・移動介助	家事援助	通院介助	無回答
0～3歳、4～6歳 (未就学児) (n=0)	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7～9歳、10～12歳 (小学生) (n=2)	0	0	0	2	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13～15歳、16～18歳 (中高生) (n=5)	1	0	0	4	0	0	0	1
	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0

「居宅介護」は「週に4～5日」が42.9%となっている。

「訪問看護」は「週に4～5日」「月に1～2日」が共に25.0%となっている。

「訪問リハビリテーション」は「週に2～3日」が42.9%となっている。

表39-V【訪問系】利用している福祉サービス（利用日数）複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

区分	週に1日	週に2～3日	週に4～5日	月に1～2日	月に3～4日	月に5日以上	無回答
居宅介護 (n=7)	0	1	3	0	0	0	3
	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	42.9
同行援護 (n=1)	0	0	0	0	0	0	1
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
行動援護 (n=1)	0	0	1	0	0	0	0
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
移動支援 (n=4)	1	0	0	3	0	0	0
	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0
保育所等訪問支援 (n=1)	0	0	0	0	0	1	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
訪問看護 (n=8)	1	0	2	2	0	0	3
	12.5	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	37.5
訪問リハビリテーション (n=7)	2	3	0	1	0	0	1
	28.6	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3
訪問入浴 (n=1)	0	0	0	0	0	0	1
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

【訪問系】福祉サービスの利用者事業所数は、「1カ所」または「2カ所」となっている。

表39-VI【訪問系】利用している福祉サービス（事業所数）複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

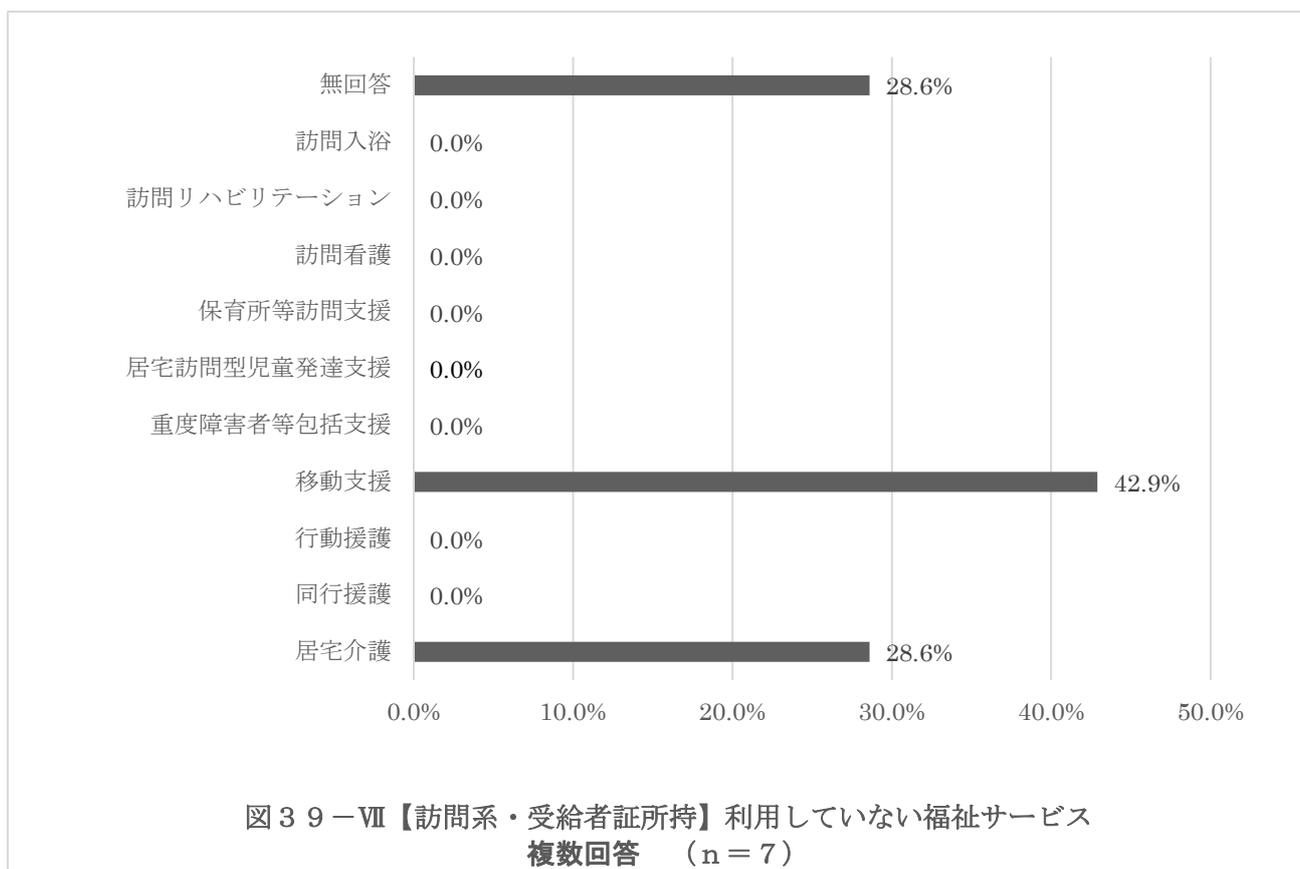
区分	1カ所	2カ所	無回答
居宅介護	3	1	3
(n=7)	42.9	14.3	42.9
同行援護	0	0	1
(n=1)	0.0	0.0	100.0
行動援護	1	0	0
(n=1)	100.0	0.0	0.0
移動支援	4	0	0
(n=4)	100.0	0.0	0.0
保育所等訪問支援	1	0	0
(n=1)	100.0	0.0	0.0
訪問看護	4	1	3
(n=8)	50.0	12.5	37.5
訪問リハビリテーション	6	0	1
(n=7)	85.7	0.0	14.3
訪問入浴	0	0	1
(n=1)	0.0	0.0	100.0

受給者証はあるが利用していない【訪問系】福祉サービスとして、「移動支援」が42.9%、「居宅介護」が28.6%となっている。

表39-VII【訪問系・受給者証所持】利用していない福祉サービス 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

居宅介護	同行援護	行動援護	移動支援	重度障害者等包括支援	居宅訪問型児童発達支援	保育所等訪問支援	訪問看護	訪問リハビリテーション	訪問入浴	無回答
2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2
28.6	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6



問39-2. ご本人が利用している【訪問系】福祉サービス等の満足度について、あてはまるもの1つに○を付けてください。

「居宅介護」は、「満足」「どちらかといえば満足」の計が85.7%となっている。

「移動支援」は、「満足」「どちらかといえば満足」の計が75.0%となっており、「どちらかといえば不満」「不満」の計が25.0%となっている。

「訪問看護」は、「満足」「どちらかといえば満足」の計が87.5%となっており、「どちらかといえば不満」「不満」の計が12.5%となっている。

「訪問リハビリテーション」は、「満足」「どちらかといえば満足」の計が100.0%となっている。

表39-2【訪問系】利用している福祉サービスの満足度 複数回答

〈上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）〉

区分	満足	どちらかとい えば満足	どちらでもな い	どちらかとい えば不満	不満	無回答
居宅介護 (n=7)	5 71.4	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
同行援護 (n=1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
行動援護 (n=1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
移動支援 (n=4)	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
重度障害者等 包括支援 (n=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居宅介護型 児童発達支援 (n=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
保育所等移動 支援 (n=1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
訪問看護 (n=8)	2 25.0	5 62.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0
訪問リハビリ テーション (n=7)	3 42.9	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
訪問入浴 (n=1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答 (n=1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0

問39-3. 問39で「12. 受給者証等はあるが利用していない」、「13. 利用していない」を選ばれた方に伺います。
 以下のうち、その理由としてあてはまるものすべてに○を付けてください。

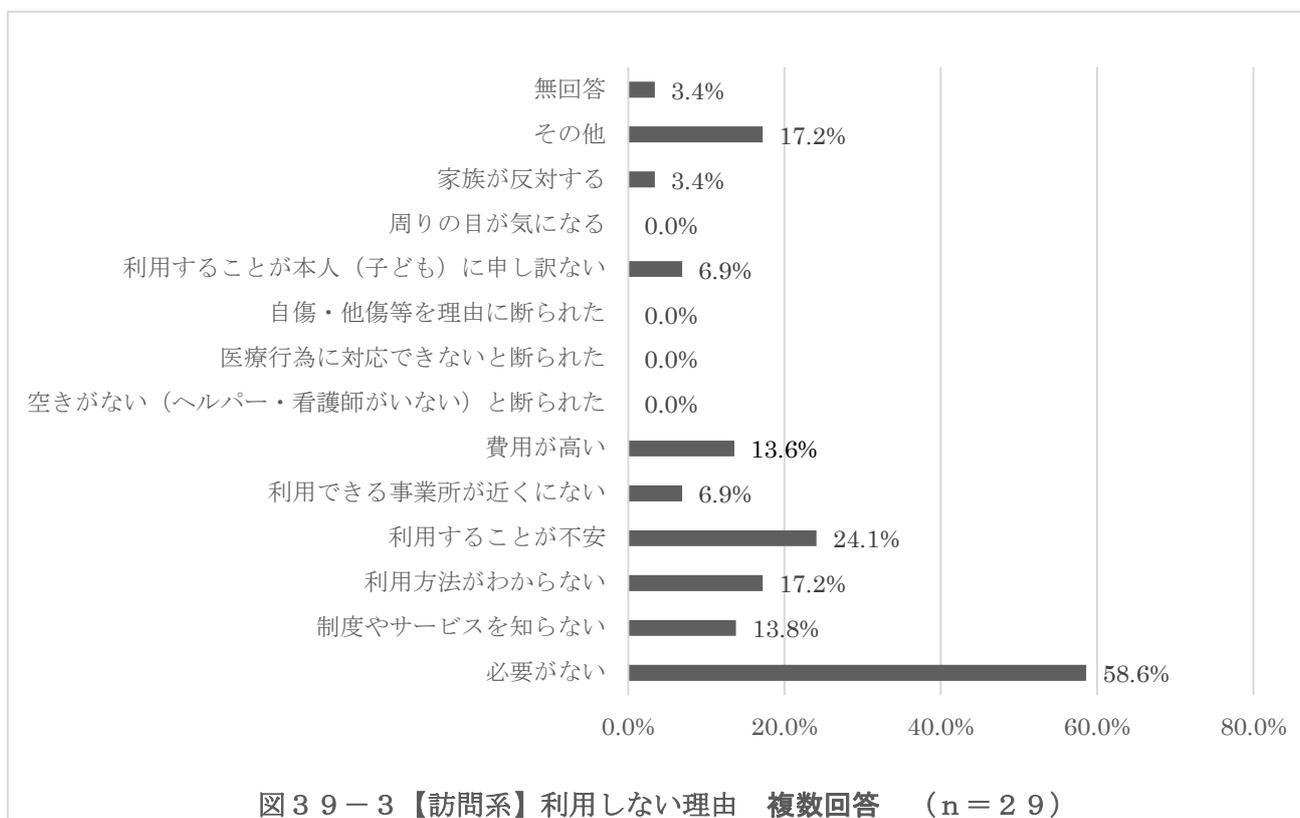
「必要がない」が58.6%と最も多く、次いで「利用することが不安」が24.1%になっている。

表39-3 【訪問系】 利用しない理由 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

必要がない	制度やサービスを知らない	利用方法がわからない	利用することが不安	利用できる事業所が近くにない	費用が高い	申し込んだが空きがない（ヘルパー・看護師がいない）と断られた
17	4	5	7	2	3	0
58.6	13.8	17.2	24.1	6.9	13.6	0.0

申し込んだが医療行為に対応できないと断られた	申し込んだが自傷・他傷等を理由に断られた	利用することが本人（子ども）に申し訳ない	周りの目が気になる	家族が反対する	その他	無回答
0	0	2	0	1	5	1
0.0	0.0	6.9	0.0	3.4	17.2	3.4



<その他>

- ・同居しているので難しい
- ・家族の同意が取れず開始できない
- ・自分（介護者）のペースでまだできている
- ・平日、学校で疲れたり、宿題等があるから
- ・体調の波が激しいので、予定が立てづらく、今の時点では“自分でやった方が楽！！”そのうち変わるとは思います

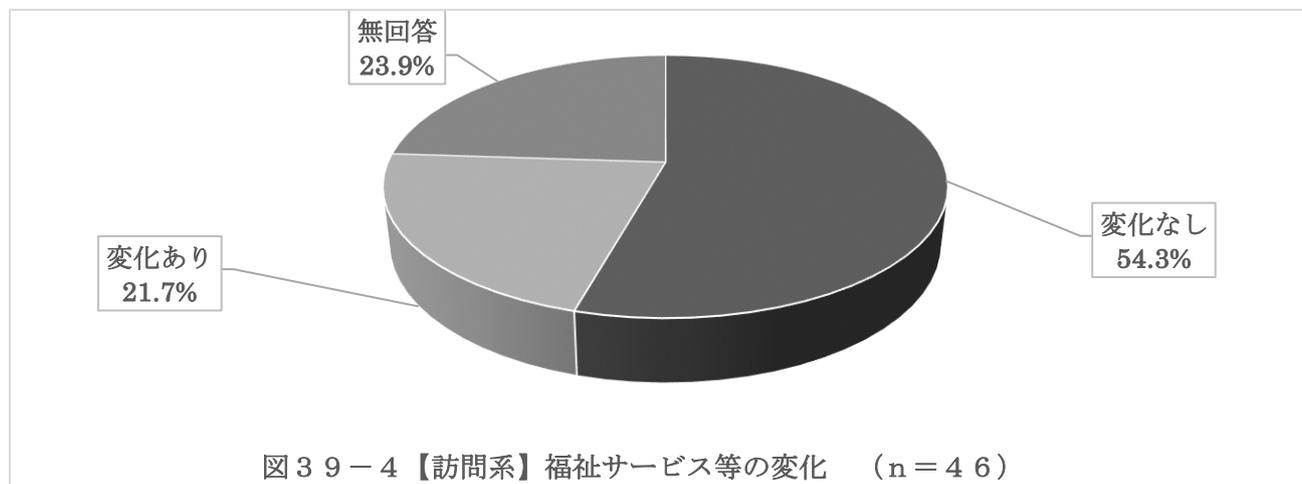
問39-4. 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言後（2020年4月7日以降）2か月間の【訪問系】福祉サービス等について、あてはまるもの1つに○を付けてください。

「変化あり」が21.7%となっている。

表39-4 【訪問系】福祉サービス等の変化

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

変化なし	変化あり	無回答
25	10	11
54.3	21.7	23.9



問39-5. 問39-4で「2. 変化あり」を選ばれた方に伺います。

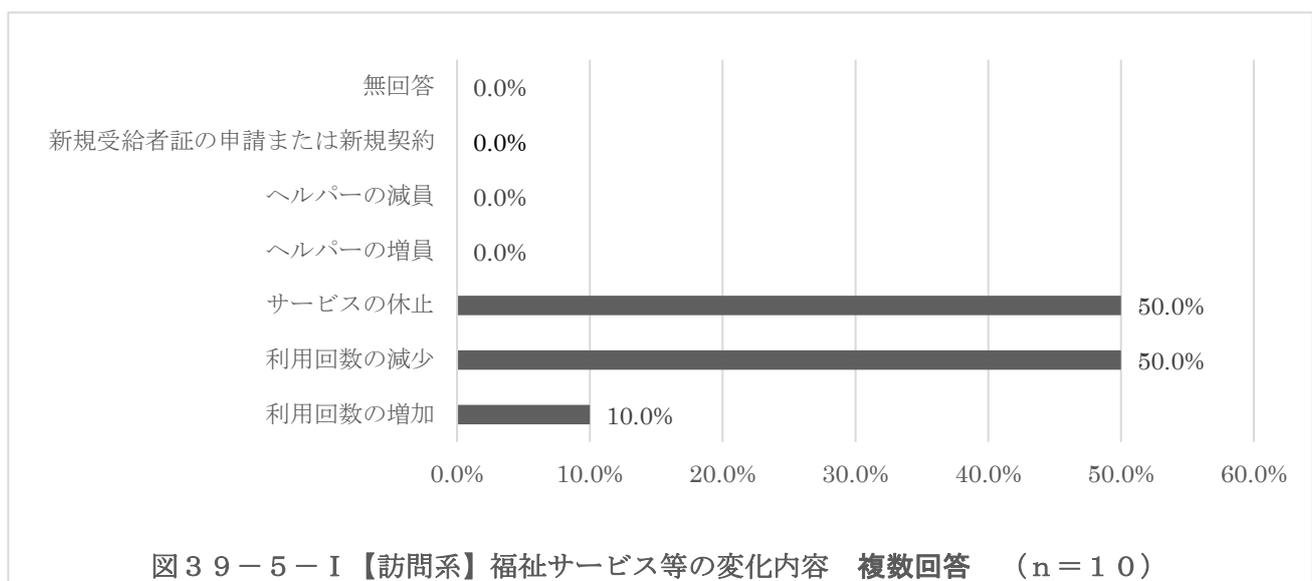
新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言後（2020年4月7日以降）2か月間の【訪問系】福祉サービス等の変化について、あてはまるものすべてに○を付け、（ ）内の主な理由1つに○を付けてください。

「利用回数の減少」「サービスの休止」が共に50.0%になっている。

表39-5-I 【訪問系】福祉サービス等の変化内容 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

利用回数の増加	利用回数の減少	サービスの休止	ヘルパーの増員	ヘルパーの減員	新規受給者証の申請または新規契約	無回答
1	5	5	0	0	0	0
10.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0



「利用回数の減少」は、「利用者からの希望」が80.0%、「事業所からの要請」が20.0%となっている。

「サービスの休止」は、「利用者からの希望」が100.0%となっている。

表3 9 - 5 - II 【訪問系】福祉サービス等の変化理由 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

区分	事業所からの要請	利用者からの希望	無回答
利用回数の増加 (n = 1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0
利用回数の減少 (n = 5)	1 20.0	4 80.0	0 0.0
サービスの休止 (n = 5)	0 0.0	5 100.0	0 0.0
ヘルパーの増員 (n = 0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ヘルパーの減員 (n = 0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0
新規受給者証の申請または 新規契約 (n = 0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0

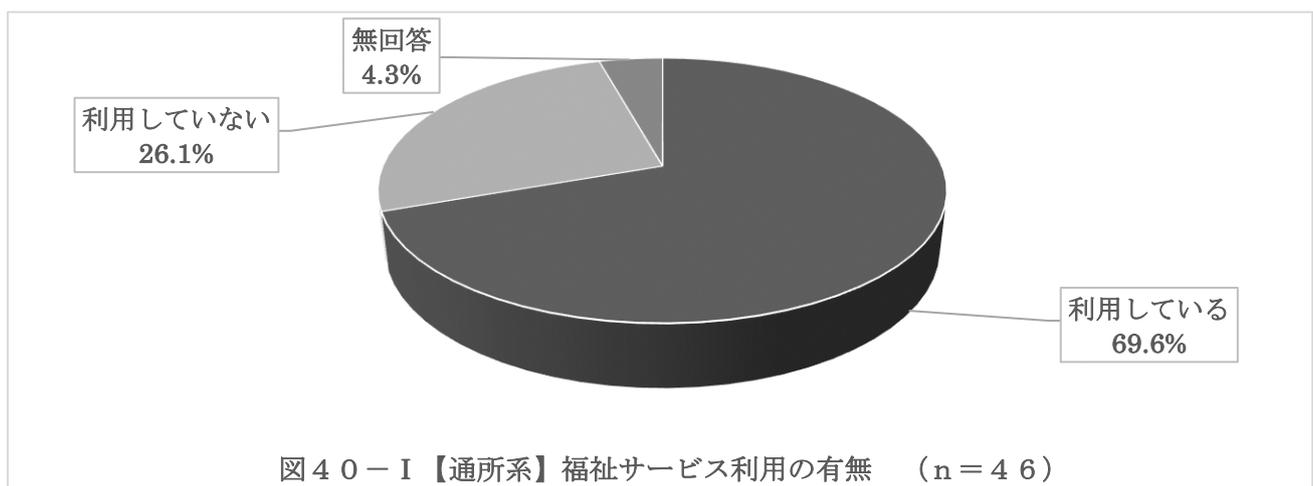
問40. 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言前（2020年4月6日以前）のご本人が利用している【通所系】福祉サービス等について、あてはまるものすべてに○を付けてください。1～5を選んだ方は、利用日数を記入し、日数の単位1つに○を付け、利用事業所数を（ ）内にご記入ください。
「6. 受給者証はあるが利用していない」を選ばれた方は、（ ）内のあてはまるものすべてに○を付けてください。

「利用している」が69.6%となっている。

表40-I 【通所系】福祉サービス利用の有無

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

ひとつでも利用している	全く利用していない	無回答
32	12	2
69.6	26.1	4.3

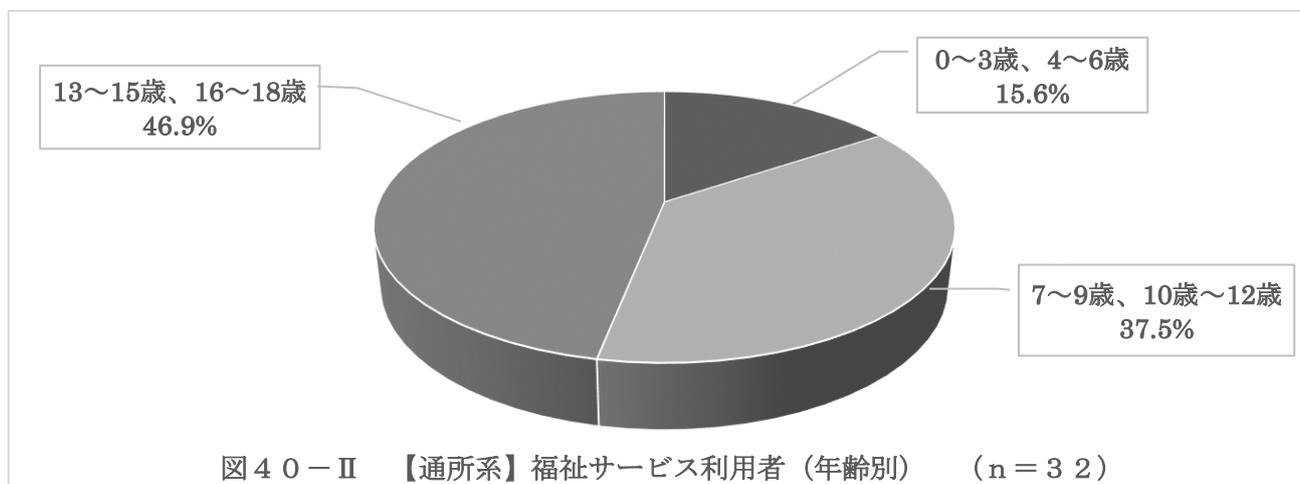


年齢別にみると「13～15歳」「16～18歳」の中高生が46.9%となっており、次いで「7～9歳」「10～12歳」の小学生が37.5%となっている。

表40-II【通所系】福祉サービス利用者（年齢別）

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

0～3歳、4～6歳 (未就学児)	7～9歳、10～12歳 (小学生)	13～15歳、16～18歳 (中高生)
5	12	15
15.6	37.5	46.9



【通所系】福祉サービスをそれぞれ年齢別で見ると「0～3歳」「4～6歳」の未就学児では、「児童発達支援」が100.0%の利用となっている。「7～9歳」「10～12歳」の小学生では、「放課後等デイサービス」が70.6%、「短期入所」が11.8%となっており、「13～15歳」「16～18歳」の中高生では、「放課後等デイサービス」が54.2%、「短期入所」が25.0%となっている。

表40-III【通所系】利用している福祉サービス（年齢別）複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

区分	短期入所	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	その他	受給者証はあるが利用していない	利用していない	無回答
0～3歳 4～6歳 (n=5)	0	5	0		0	0	0	0
	0.0	100.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0
7～9歳 10～12歳 (n=17)	2			12	0	4	3	0
	11.8			70.6	0.0	23.5	17.6	0.0
13～15歳 16～18歳 (n=24)	6			13	1	4	5	2
	25.0			54.2	4.2	16.7	20.8	8.3

「短期入所」は「月に1～2日」が37.5%となっている。

「放課後等デイサービス」は「週に4～5日」が68.0%となっている。

表40-IV【通所系】利用している福祉サービス（利用日数）複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

区分	週に 1日	週に 2～3日	週に 4～5日	月に 1～2日	月に 3～4日	月に 5日以上	年に 3～4日	無回答
短期入所 (n=8)				3 37.5	1 12.5	2 25.0	2 25.0	0 0.0
児童発達支援 (n=5)	1 20.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
放課後等デイサービス (n=25)	3 12.0	5 20.0	17 68.0					0 0.0
その他 (n=1)	0 0.0	0 0.0	1 100.0					0 0.0

【通所系】福祉サービスの利用事業所数は、「1カ所」の利用が最も多くなっている。

表40-V【通所系】利用している福祉サービス（事業所数）複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

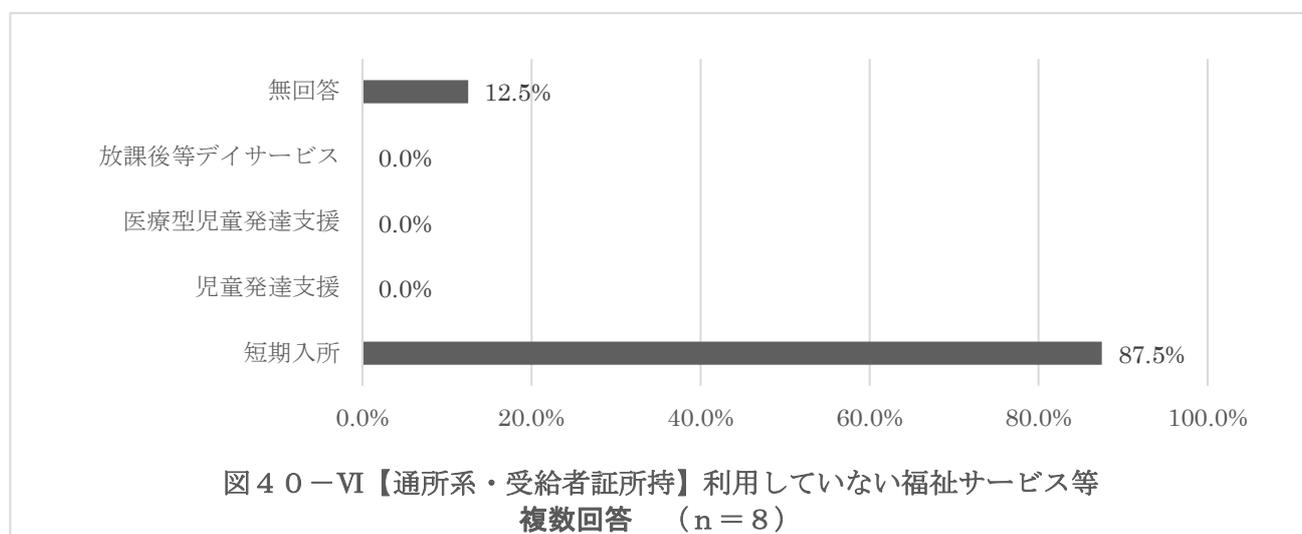
区分	1カ所	2カ所	3カ所	無回答
短期入所 (n=8)	4 57.1	3 37.5	1 14.3	0 0.0
児童発達支援 (n=5)	3 60.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
放課後等デイサービス (n=25)	11 44.0	11 44.0	1 4.0	2 8.0
その他 (n=1)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

受給者証はあるが利用していない【通所系】福祉サービスとして、「短期入所」が87.5%となっている。

表40-VI【通所系・受給者証所持】利用していない福祉サービス 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

短期入所	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	無回答
7	0	0	0	1
87.5	0.0	0.0	0.0	12.5



問40-2. ご本人が利用している【通所系】福祉サービス等の満足度について、あてはまるもの
1つに○を付けてください。

「短期入所」は、「満足」「どちらかといえば満足」の計が75.0%となっており、「どちらかといえば不満」「不満」の計が12.5%となっている。

「児童発達支援」は、「満足」「どちらかといえば満足」の計が100.0%となっている。

「放課後等デイサービス」は、「満足」「どちらかといえば満足」の計が88.0%となっており、「どちらかといえば不満」「不満」の計が4.0%となっている。

表40-2 【通所系】利用している福祉サービスの満足度 複数回答

〈上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）〉

区分	満足	どちらかとい えば満足	どちらでもな い	どちらかとい えば不満	不満	無回答
短期入所 (n=8)	0 0.0	6 75.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0
児童発達支援 (n=5)	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
医療型 児童発達支援 (n=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
放課後等デイ サービス (n=25)	8 32.0	14 56.0	2 8.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0
その他 (n=1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問40-3. 問40で「6. 受給者証はあるが利用していない」、「7. 利用していない」を選ばれた方に伺います。

以下のうち、その理由としてあてはまるものすべてに○を付けてください。

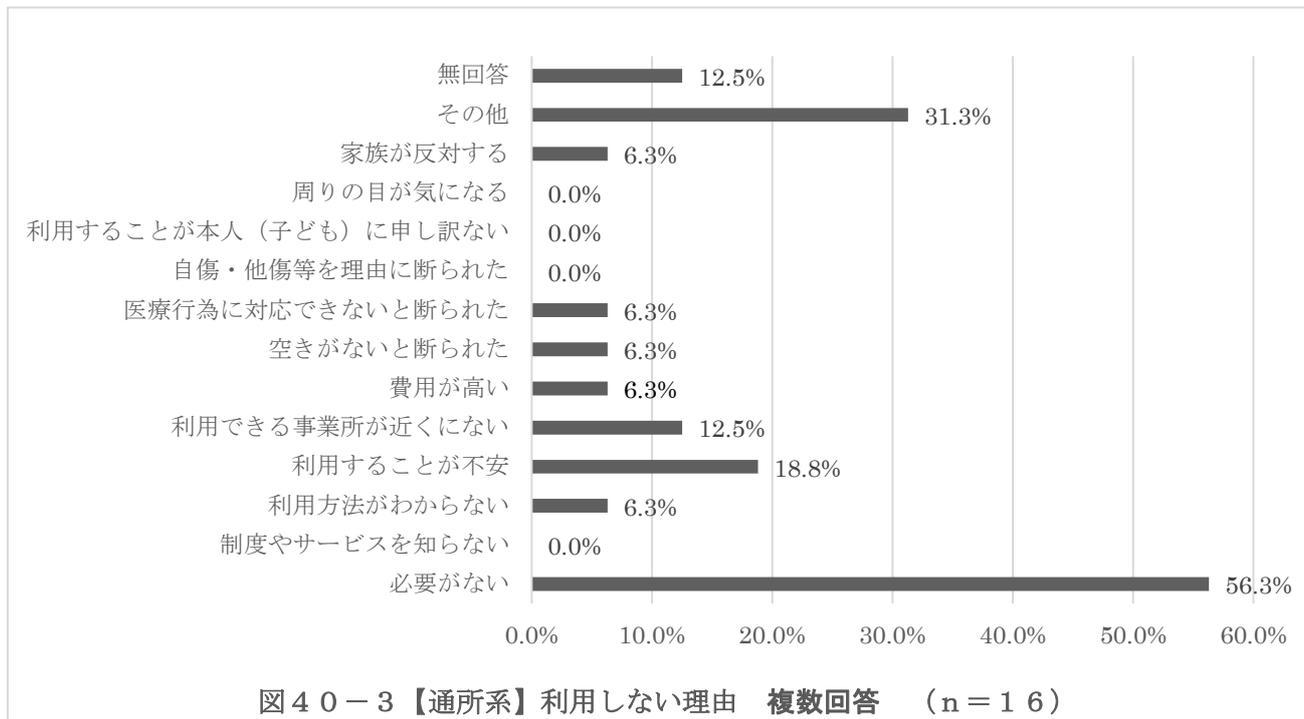
「必要がない」が56.3%と最も多く、次いで「利用することが不安」が18.8%となっている。

表40-3 【通所系】利用しない理由 複数回答

《上段：回答者数(人) 下段：構成比(%)》

必要がない	制度やサービスを知らない	利用方法がわからない	利用することが不安	利用できる事業所が近くにない	費用が高い	申し込んだが空きがないと断られた
9	0	1	3	2	1	1
56.3	0.0	6.3	18.8	12.5	6.3	6.3

申し込んだが医療行為に対応できないと断られた	申し込んだが自傷・他傷等を理由に断られた	利用することが本人(子ども)に申し訳ない	周りの目が気になる	家族が反対する	その他	無回答
1	0	0	0	1	5	2
6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	31.3	12.5



<その他>

- ・受給者証ができて少しするとコロナが拡がり、まだ事業所へ問合せできていない
- ・本人が利用したがない
- ・平日は忙しいので体力もないし行く必要がない
- ・医ケア内容、数など留意点が多く、慣れる事より体調を崩さない事を優先してしまい利用まで至っていない

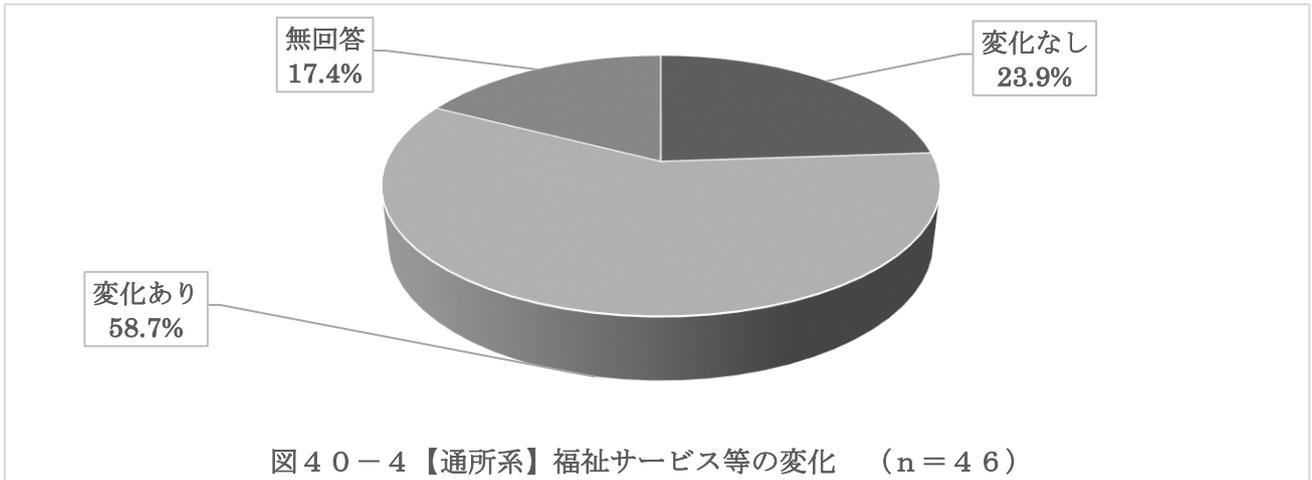
問40-4. 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言後（2020年4月7日以降）2か月間の【通所系】福祉サービス等について、あてはまるもの1つに○を付けてください。

「変化あり」が58.7%となっている。

表40-4 【通所系】福祉サービス等の変化

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

変化なし	変化あり	無回答
11	27	8
23.9	58.7	17.4



問40-5. 問40-4で「2. 変化あり」を選ばれた方に伺います。

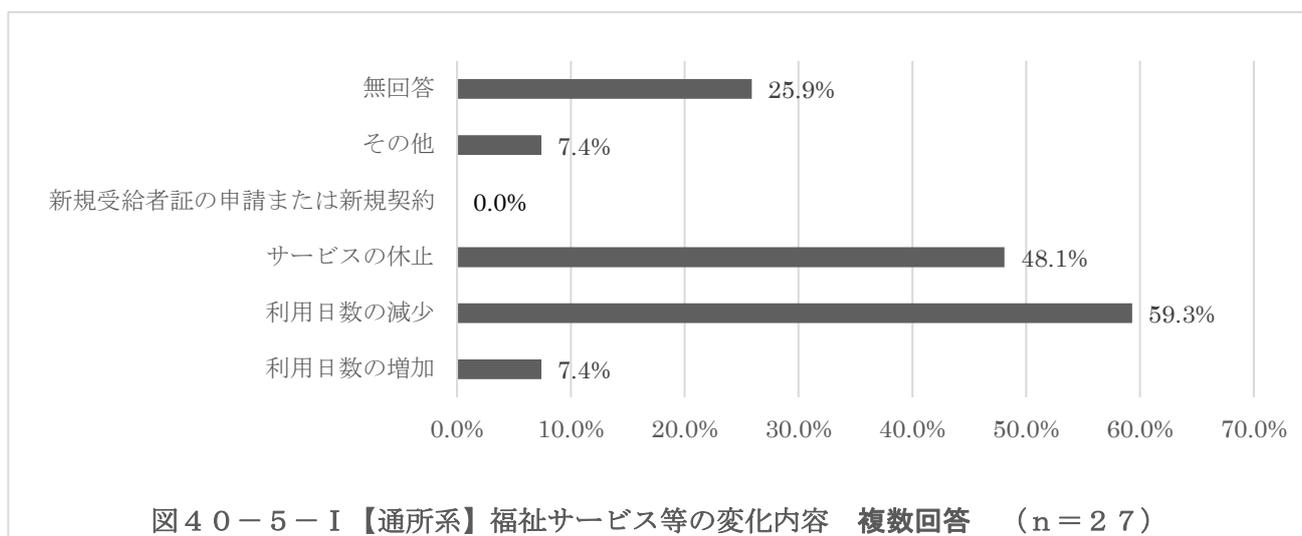
新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言後（2020年4月7日以降）2か月間の【通所系】福祉サービス等の変化について、あてはまるものすべてに○を付け、（ ）内の主な理由1つに○を付けてください。

「利用日数の減少」が59.3%と最も多く、次いで「サービスの休止」が48.1%になっている。

表40-5-I 【通所系】福祉サービス等の変化内容 複数回答

〈上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）〉

利用日数の増加	利用日数の減少	サービスの休止	新規受給者証の申請または新規契約	その他	無回答
2	16	13	0	2	7
7.4	59.3	48.1	0.0	7.4	25.9



<その他>

- ・利用時間の短縮（事業者からの要請）
- ・医ケア（たん吸引）が始まったことにより、デイサービスでは吸引が出来ないため放課後のみの利用になった

「利用日数の減少」は、「事業所からの要請」が37.5%、「利用者からの希望」が25.0%となっている。

「サービスの休止」は、「事業所からの要請」が53.8%、「利用者からの希望」が46.2%となっている。

表40-5-II【通所系】福祉サービス等の変化理由 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

区分	事業所からの要請	利用者からの希望	無回答
利用日数の増加 (n = 2)	0 0.0	1 50.0	1 50.0
利用日数の減少 (n = 16)	6 37.5	4 25.0	6 37.5
サービスの休止 (n = 13)	7 53.8	6 46.2	0 0.0
新規受給者証の申請または 新規契約 (n = 0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他 (n = 2)	1 50.0	0 0.0	1 50.0

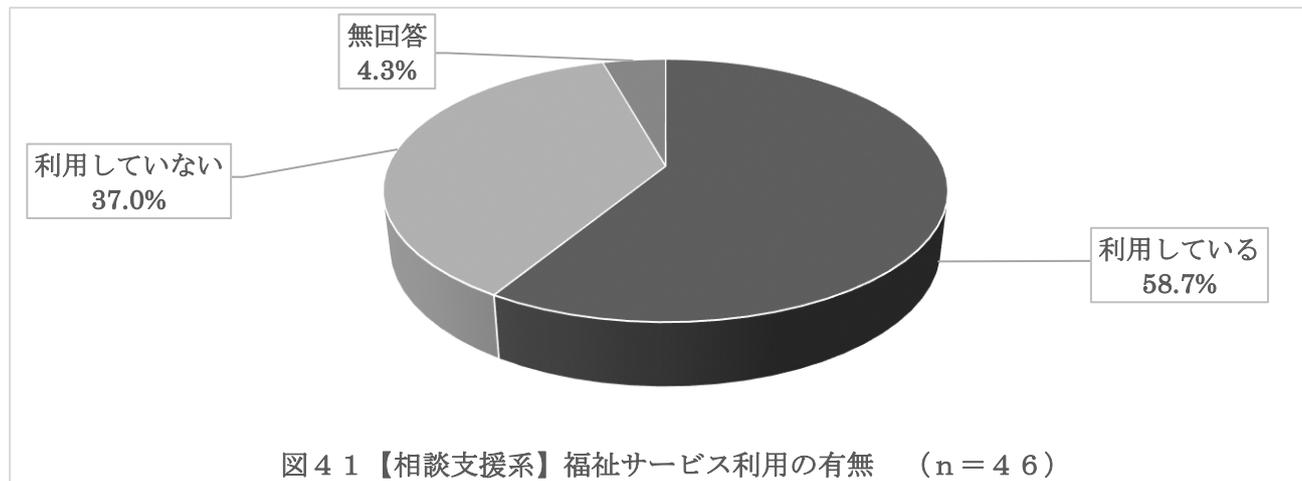
問 4 1. ご本人が利用している【相談支援系】福祉サービス等について、あてはまるもの1つに○を付けてください。

「利用している」が 58.7%となっている。

表 4 1 【相談支援系】福祉サービス利用の有無

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

利用している	利用していない	無回答
27	17	2
58.7	37.0	4.3



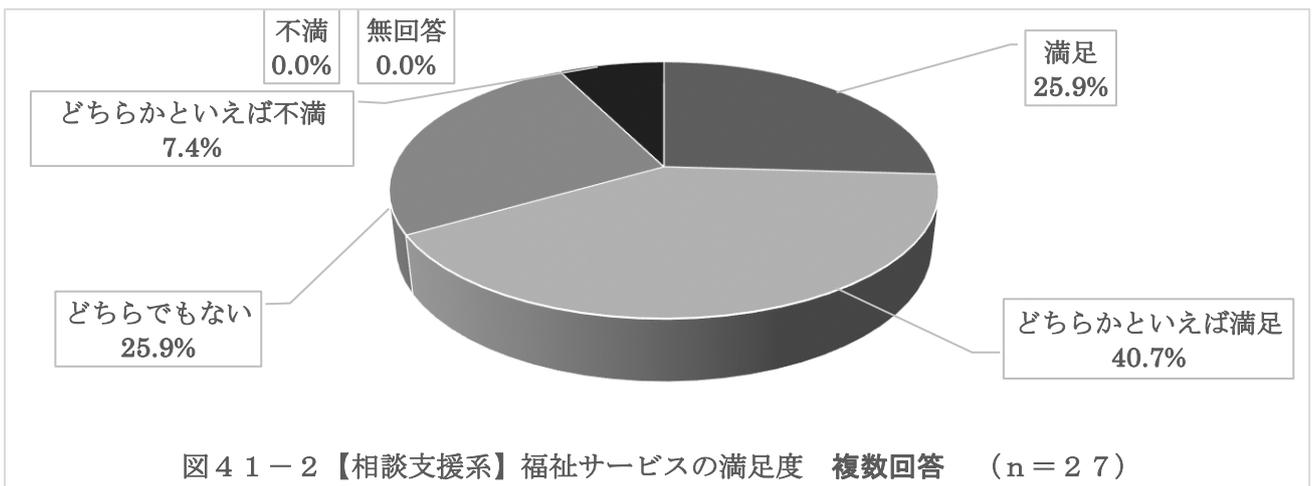
問 4 1 - 2. ご本人が利用している【相談支援系】福祉サービス等の満足度について、あてはまるもの
1つに○を付けてください。

「満足」「どちらかといえば満足」の計が 66.6%となっており、「どちらかといえば不満」「不満」の
計は 7.4%となっている。

表 4 1 - 2 【相談支援系】利用している福祉サービスの満足度 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

満足	どちらかといえ ば満足	どちらでもない	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
7	11	7	2	0	0
25.9	40.7	25.9	7.4	0.0	0.0



問4 1-3. 問4 1で「4. 利用していない」を選ばれた方に伺います。

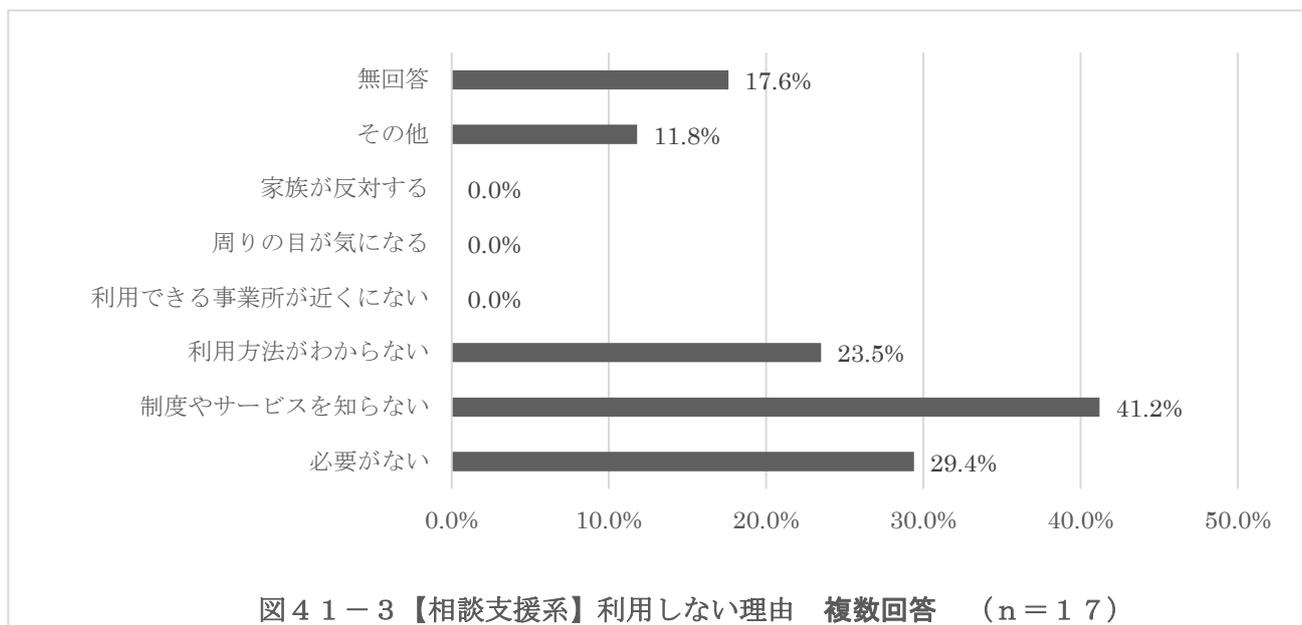
以下のうち、その理由としてあてはまるものすべてに○を付けてください。

「制度やサービスを知らない」が41.2%と最も多く、次いで「必要が無い」が29.4%となっている。

表4 1-3 【相談支援系】 利用しない理由 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

必要がない	制度やサービスを知らない	利用方法がわからない	利用できる事業所が近くにない	周りの目が気になる	家族が反対する	その他	無回答
5	7	4	0	0	0	2	3
29.4	41.2	23.5	0.0	0.0	0.0	11.8	17.6



<その他>

- ・忙しくて相談に行けていない
- ・今は、必要がない。本人が必要としていない

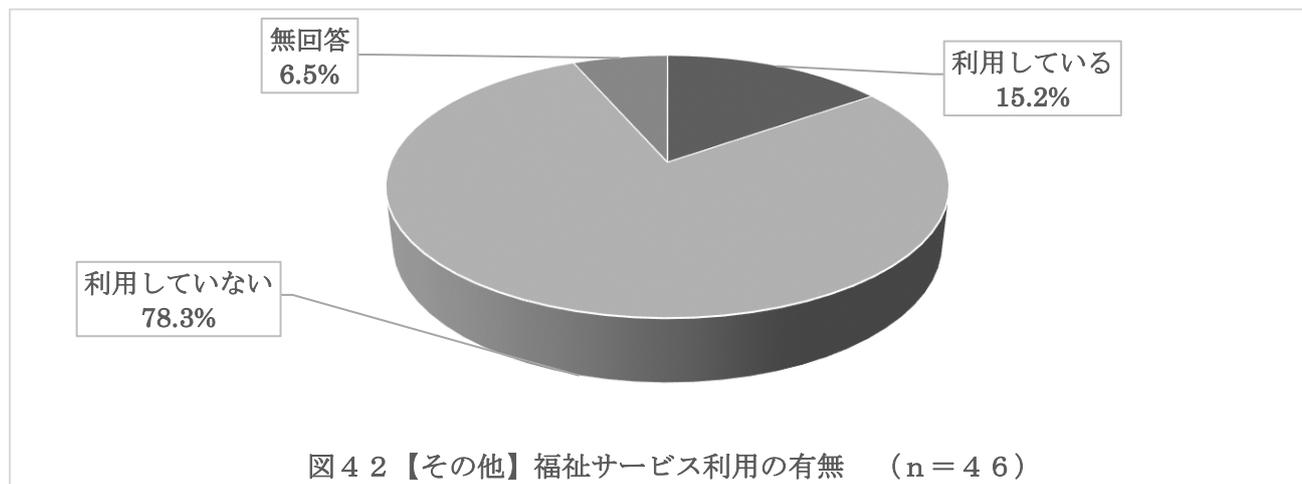
問4 2. ご本人が利用している【その他】福祉サービス等について、あてはまるもの1つに○を付けてください。

「利用している」が15.2%となっている。

表4 2 【その他】福祉サービス利用の有無

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

ひとつでも利用している	全く利用していない	無回答
7	36	3
15.2	78.3	6.5



問4 2-2. ご本人が利用している【その他】福祉サービス等の満足度について、あてはまるもの
1つに○を付けてください。

「日中一時支援」は、「満足」「どちらかといえば満足」の計が25.0%となっている。

「障害児(者)生活サポート」は、「満足」「どちらかといえば満足」の計が25.0%となっており、「ど
ちらかといえば不満」「不満」の計が25.0%となっている。

表4 2-2 【その他】利用している福祉サービスの満足度 複数回答

〈上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）〉

区分	満足	どちらかとい えば満足	どちらでもな い	どちらかとい えば不満	不満	無回答
日中一時支援 (n = 4)	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障害児(者) 生活サポート (n = 4)	0 0.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0

問4 2-3. 問4 2で「4. 利用していない」を選ばれた方に伺います。

以下のうち、その理由としてあてはまるものすべてに○を付けてください。

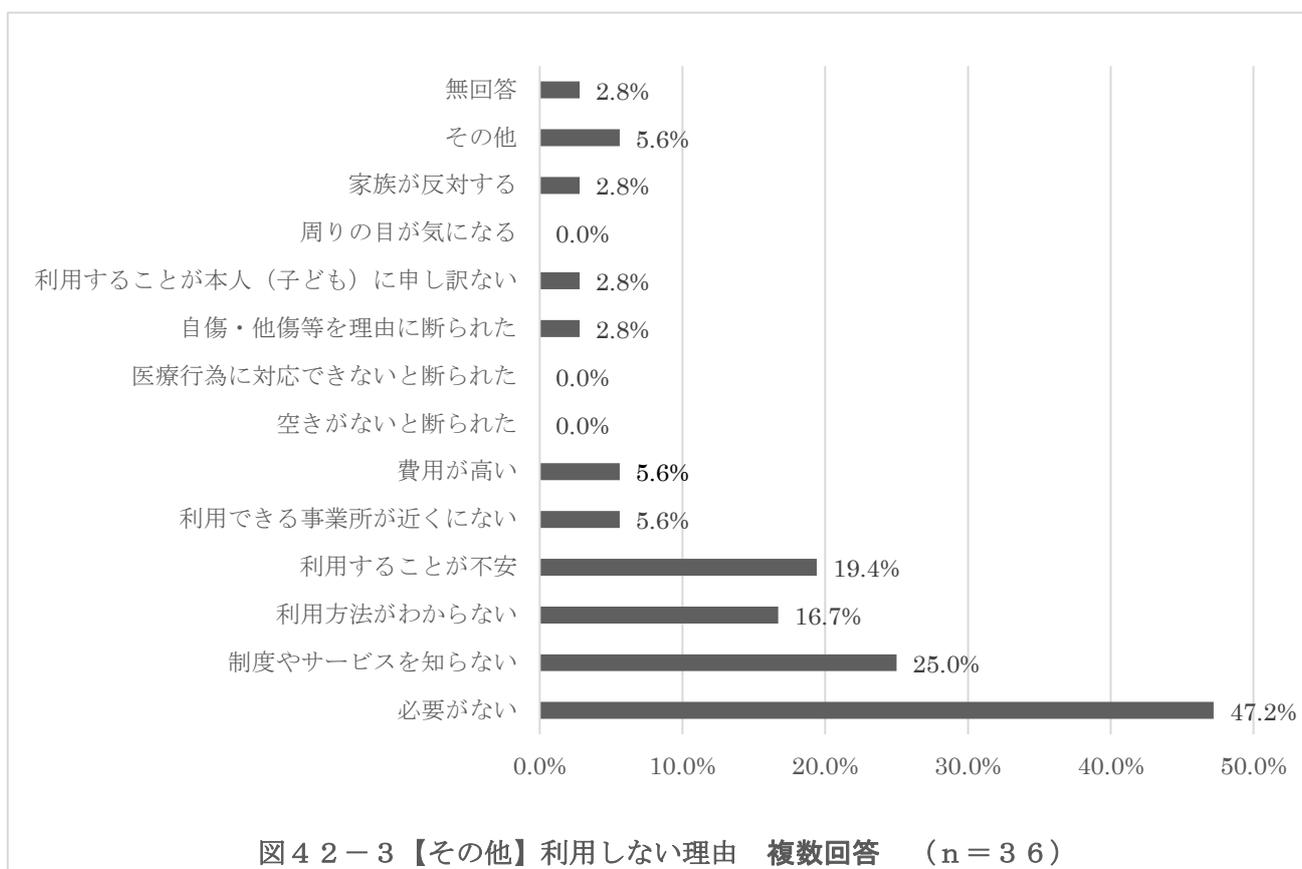
「必要が無い」が47.2%と最も多く、次いで「制度やサービスを知らない」が25.0%となっている。

表4 2-3 【その他】利用しない理由 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

必要がない	制度やサービスを知らない	利用方法がわからない	利用することが不安	利用できる事業所が近くにない	費用が高い	申し込んだが空きがないと断られた
17	9	6	7	2	2	0
47.2	25.0	16.7	19.4	5.6	5.6	0.0

申し込んだが医療行為に対応できないと断られた	申し込んだが自傷・他傷等を理由に断られた	利用することが本人（子ども）に申し訳ない	周りの目が気になる	家族が反対する	その他	無回答
0	1	1	0	1	2	1
0.0	2.8	2.8	0.0	2.8	5.6	2.8



問43. 今後、ご本人・家族が利用したいと考えている福祉サービス、充実して欲しい福祉サービス等について、あてはまるものすべてに○を付けてください。

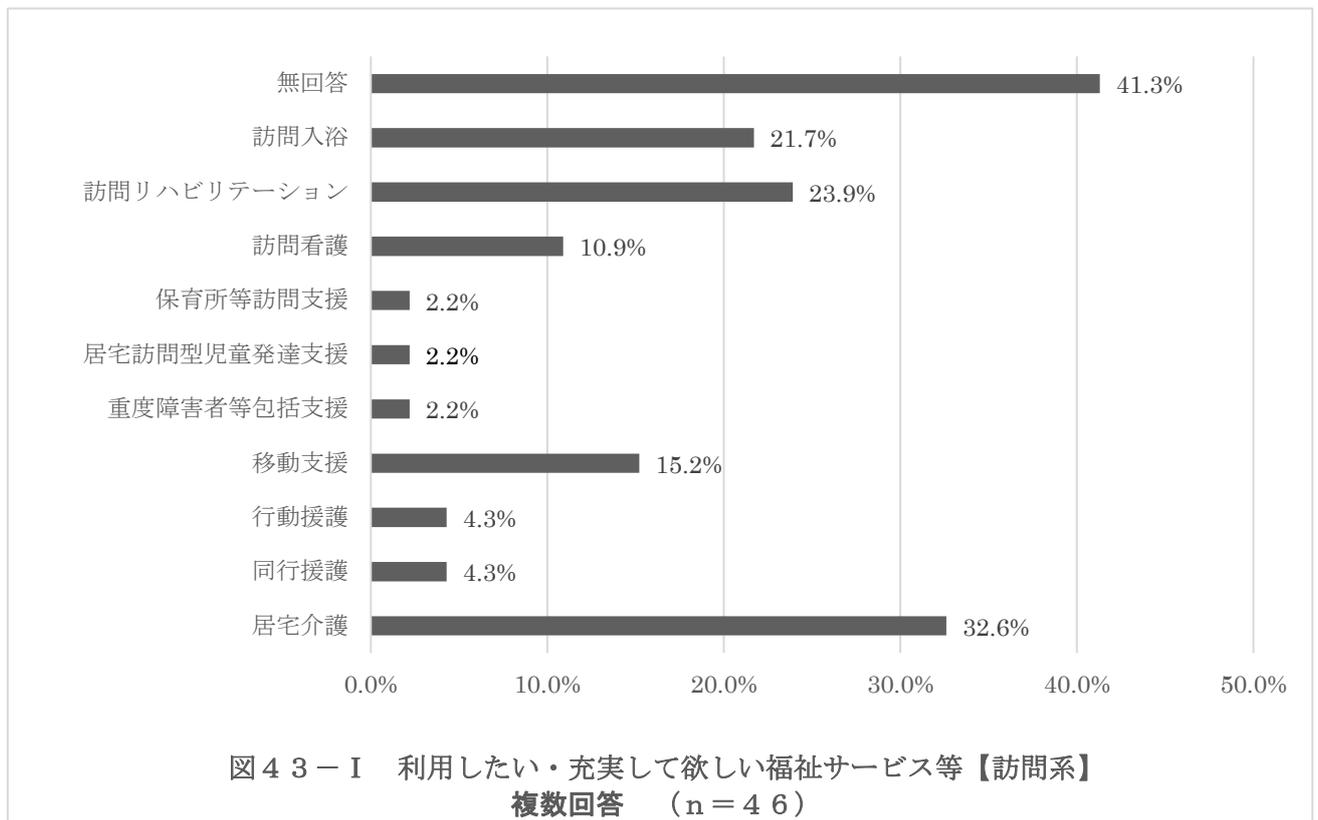
「1. 居宅介護」を選ばれた方は、()内のあてはまるものすべてに○を付けてください。

【訪問系】は「居宅介護」が32.6%と最も多く、次いで「訪問リハビリテーション」が23.9%となっている。

表43-I 利用したい・充実して欲しい福祉サービス等【訪問系】 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

居宅介護	同行援護	行動援護	移動支援	重度障害者等包括支援	居宅訪問型児童発達支援	保育所等訪問支援	訪問看護	訪問リハビリテーション	訪問入浴	無回答
15	2	2	7	1	1	1	5	11	10	19
32.6	4.3	4.3	15.2	2.2	2.2	2.2	10.9	23.9	21.7	41.3

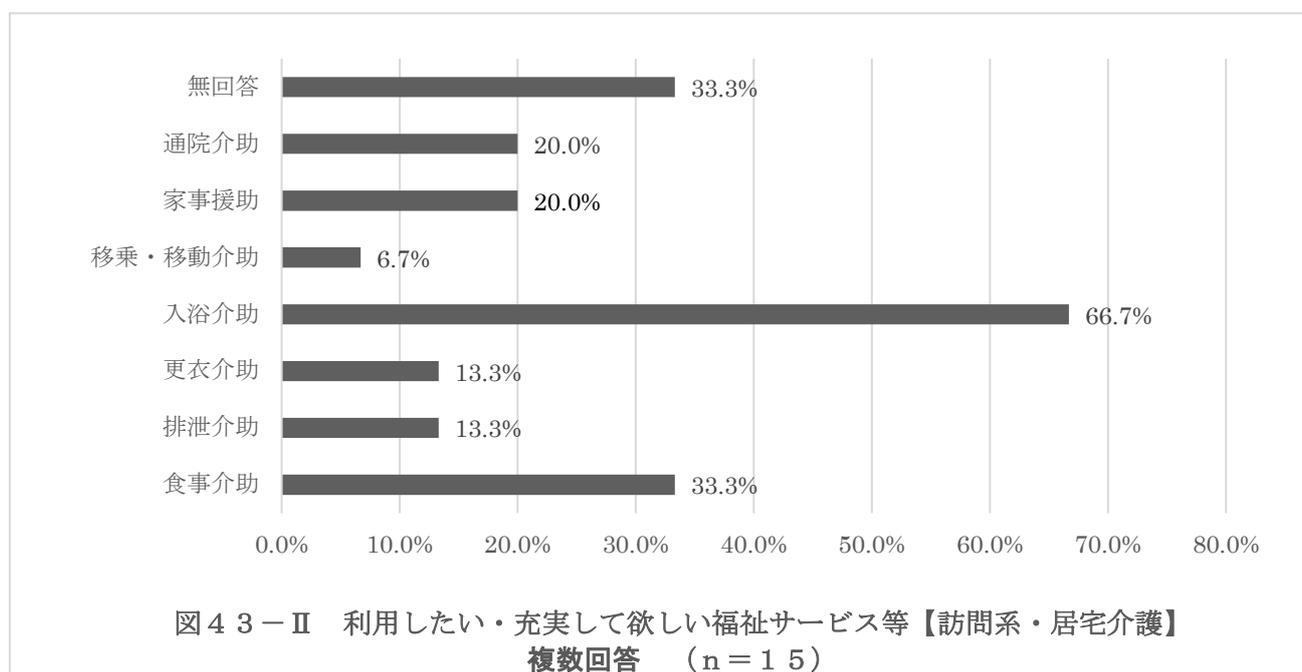


「居宅介護」でみると「入浴介助」が66.7%と最も多く、次いで「食事介助」が33.3%となっている。

表4-3-II 利用したい・充実して欲しい福祉サービス等【訪問系・居宅介護】 複数回答

〈上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）〉

食事介助	排泄介助	更衣介助	入浴介助	移乗・ 移動介助	家事援助	通院介助	無回答
5	2	2	10	1	3	3	5
33.3	13.3	13.3	66.7	6.7	20.0	20.0	33.3

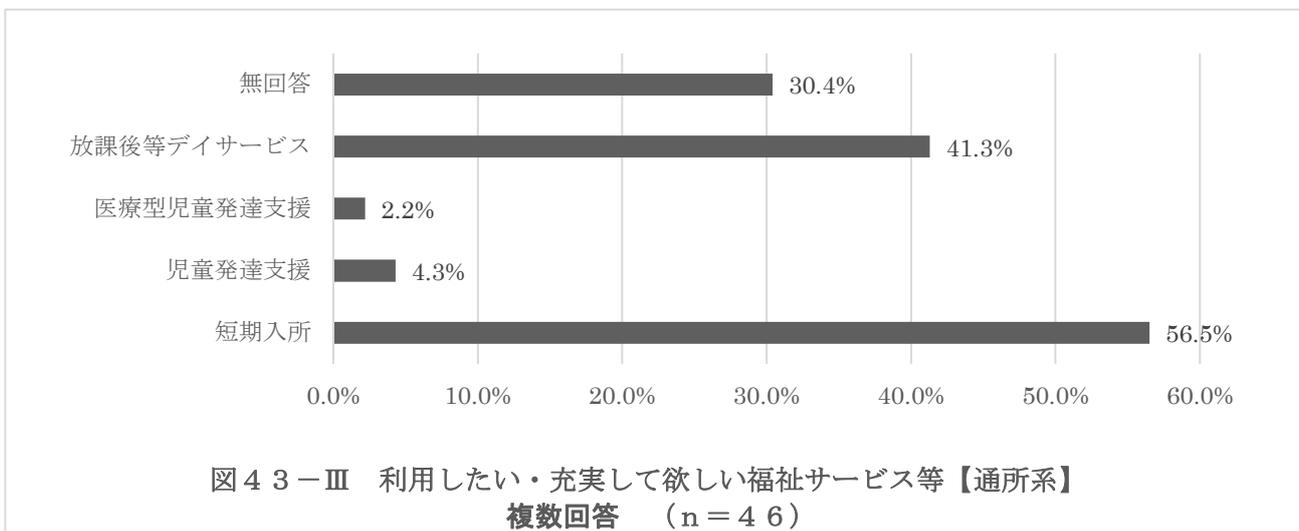


【通所系】は、「短期入所」が56.5%と最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が41.3%となっている。

表4-3-III 利用したい・充実して欲しい福祉サービス等【通所系】 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

短期入所	児童発達支援	医療型 児童発達支援	放課後等デイ サービス	無回答
26	2	1	19	14
56.5	4.3	2.2	41.3	30.4

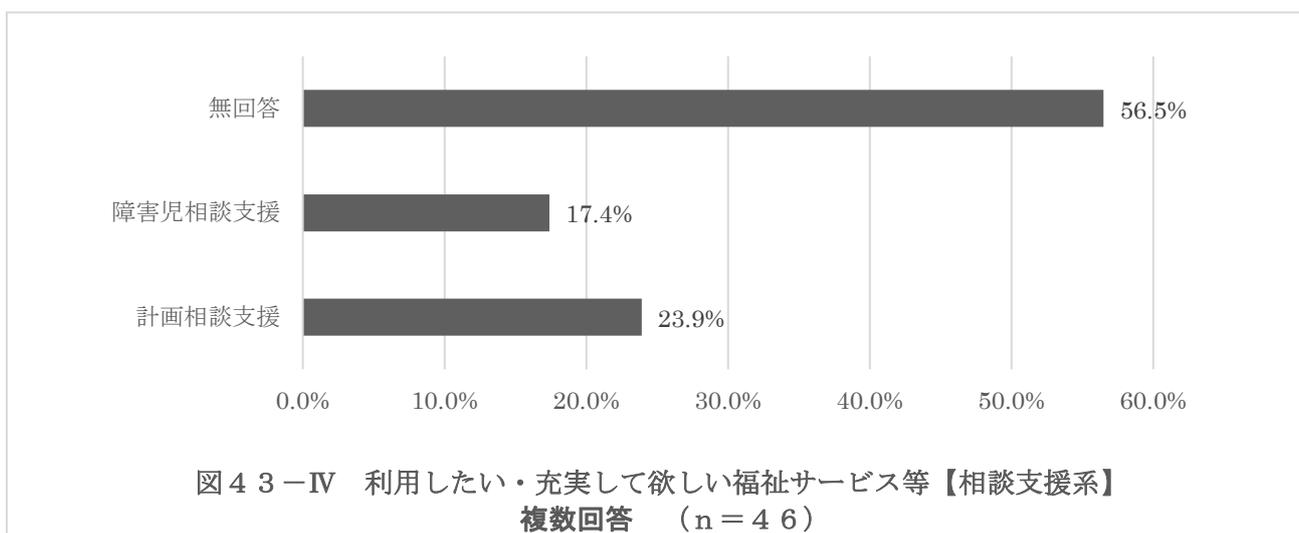


【相談支援系】は、「計画相談支援」が23.9%、「障害児相談支援」が17.4%となっている。

表4-3-IV 利用したい・充実して欲しい福祉サービス等【相談支援系】 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

計画相談支援	障害児相談支援	無回答
11	8	26
23.9	17.4	56.5

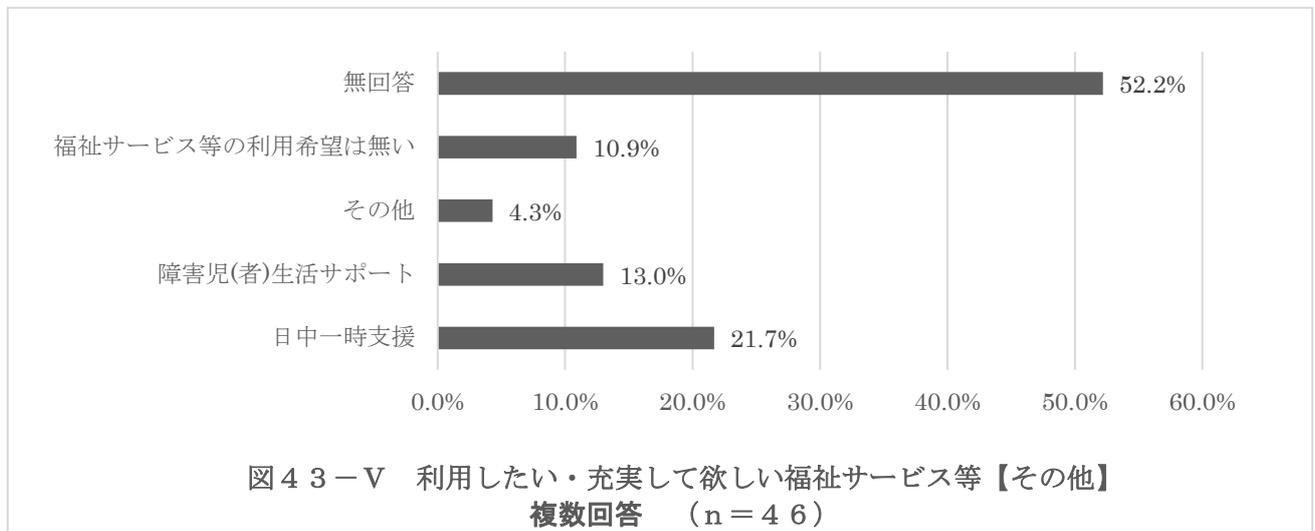


【その他】は、「日中一時支援」が21.7%、「障害児(者)生活サポート」が13.0%となっている。

表4 3 - V 利用したい・充実して欲しい福祉サービス等【その他】 複数回答

◀上段：回答者数(人) 下段：構成比(%)▶

日中一時支援	障害児(者)生活サポート	その他	福祉サービス等の利用希望は無い	無回答
10	6	2	5	24
21.7	13.0	4.3	10.9	52.2



<その他>

- ・すぐにではないが、少しずつ利用を考えていく必要があると考えている

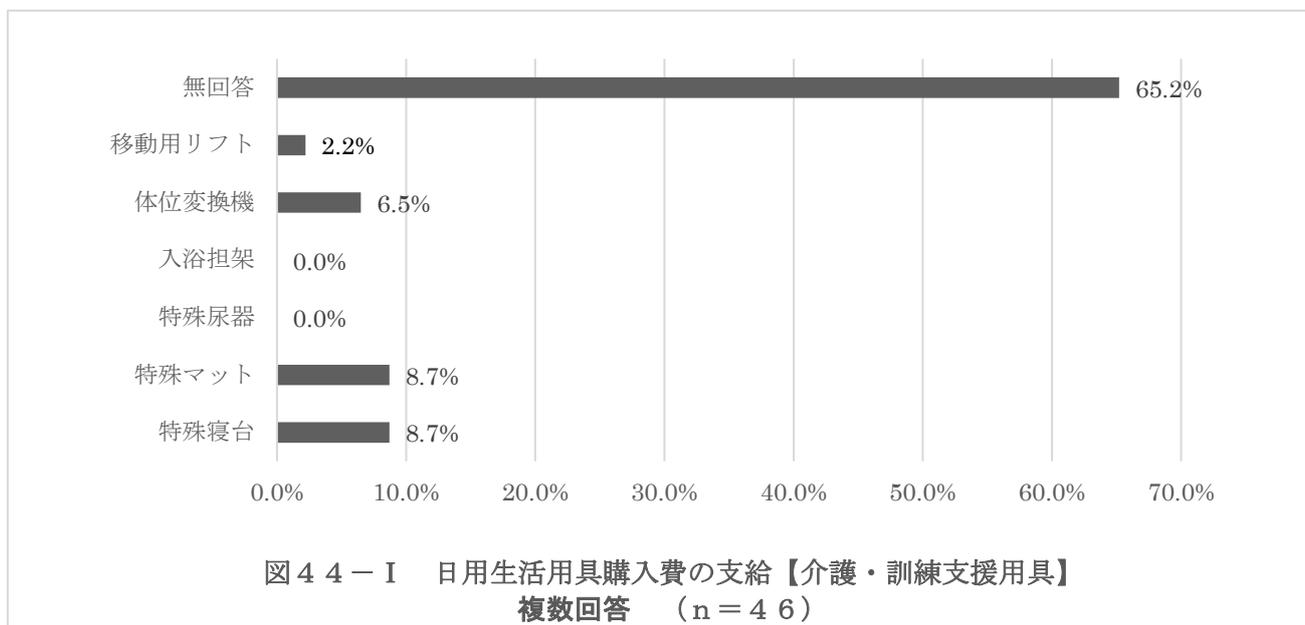
問4-4. 日常生活用具購入費の支給を受けたことのある物品等について、以下のうち、あてはまるものすべてに○を付けてください。

「特殊寝台」「特殊マット」が共に8.7%となっている。

表4-4-I 日常生活用具購入費の支給【介護・訓練支援用具】 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

特殊寝台	特殊マット	特殊尿器	入浴担架	体位変換機	移動用リフト	無回答
4	4	0	0	3	1	30
8.7	8.7	0.0	0.0	6.5	2.2	65.2

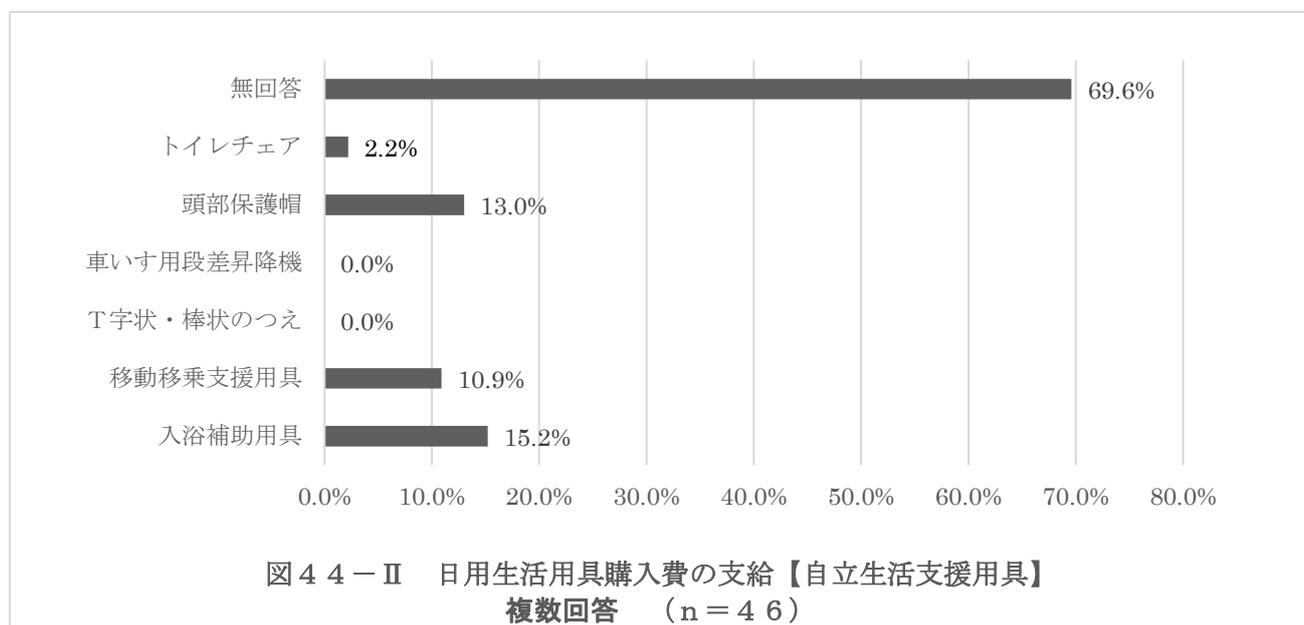


「入浴補助用具」が15.2%となっており、「頭部保護帽」が13.0%となっている。

表4-4-II 日常生活用具購入費の支給【自立生活支援用具】 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

入浴補助用具	移動移乗支援用具	T字状・棒状のつえ	車いす用段差昇降機	頭部保護帽	トイレチェア	無回答
7	5	0	0	6	1	32
15.2	10.9	0.0	0.0	13.0	2.2	69.6

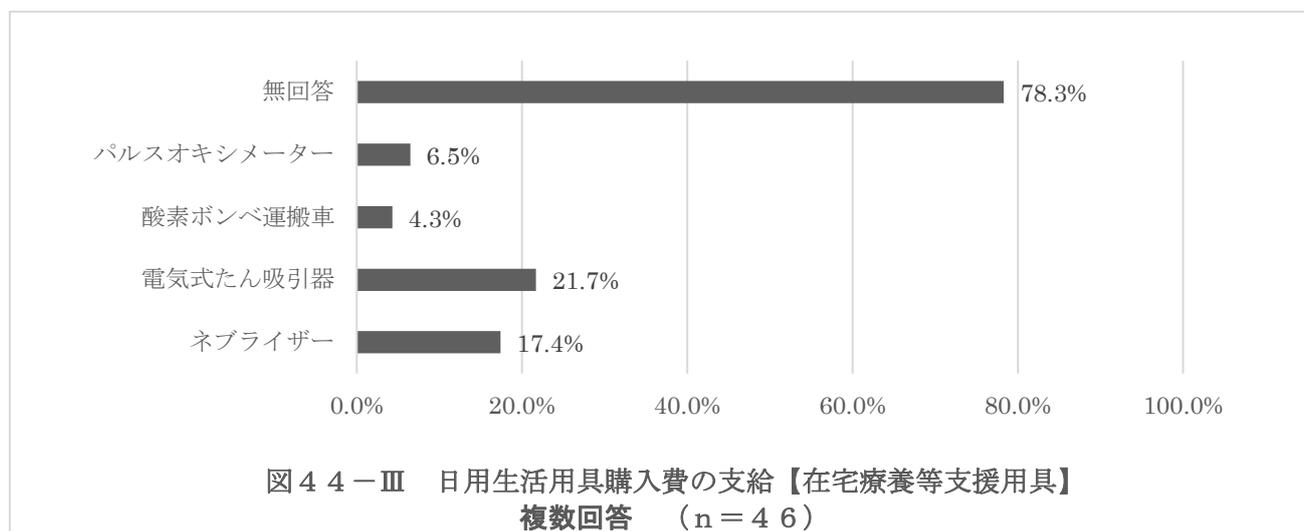


「電気式たん吸引器」が21.7%となっており、「ネブライザー」が17.4%となっている。

表4-4-III 日常生活用具購入費の支給【在宅療養等支援用具】 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

ネブライザー	電気式たん吸引器	酸素ボンベ運搬車	パルスオキシメーター	無回答
8	10	2	3	36
17.4	21.7	4.3	6.5	78.3

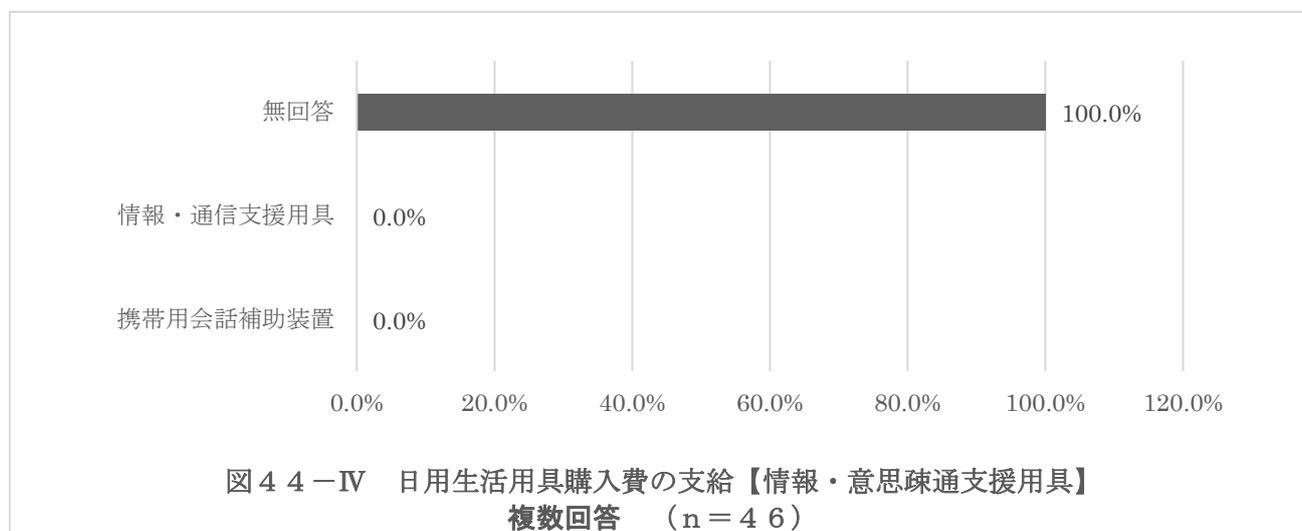


【情報・意思疎通支援用具】の購入費支給は無い。

表 4 4 - IV 日常生活用具購入費の支給【情報・意思疎通支援用具】 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（％）》

携帯用会話補助装置	情報・通信支援用具	無回答
0	0	46
0.0	0.0	100.0

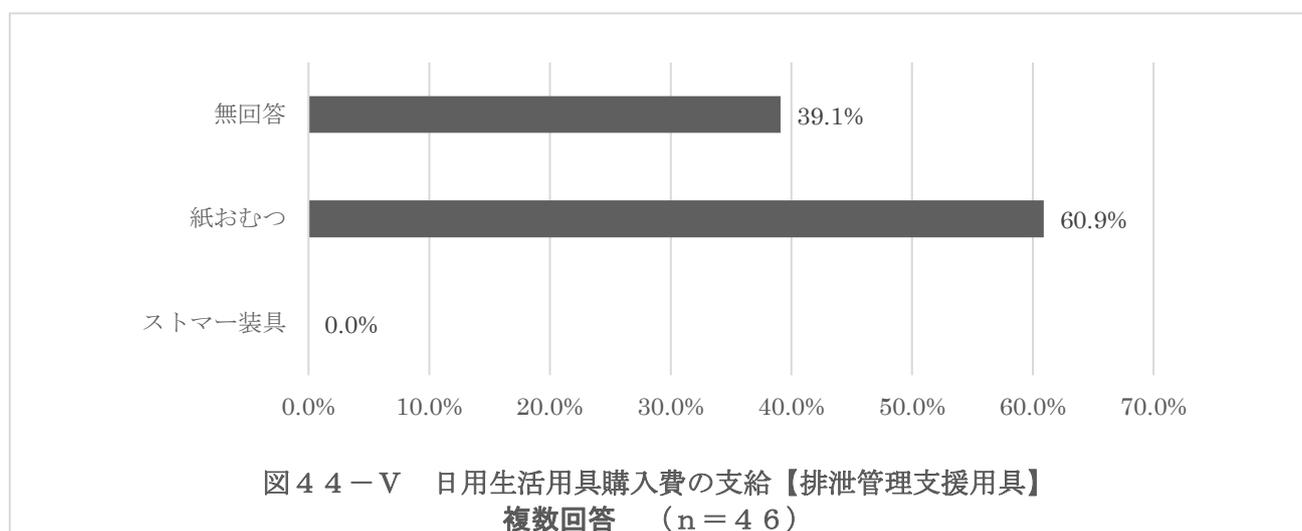


「紙おむつ」が 60.9% となっている。

表 4 4 - V 日常生活用具購入費の支給【排泄管理支援用具】 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（％）》

ストーマ装具	紙おむつ	無回答
0	28	18
0.0	60.9	39.1

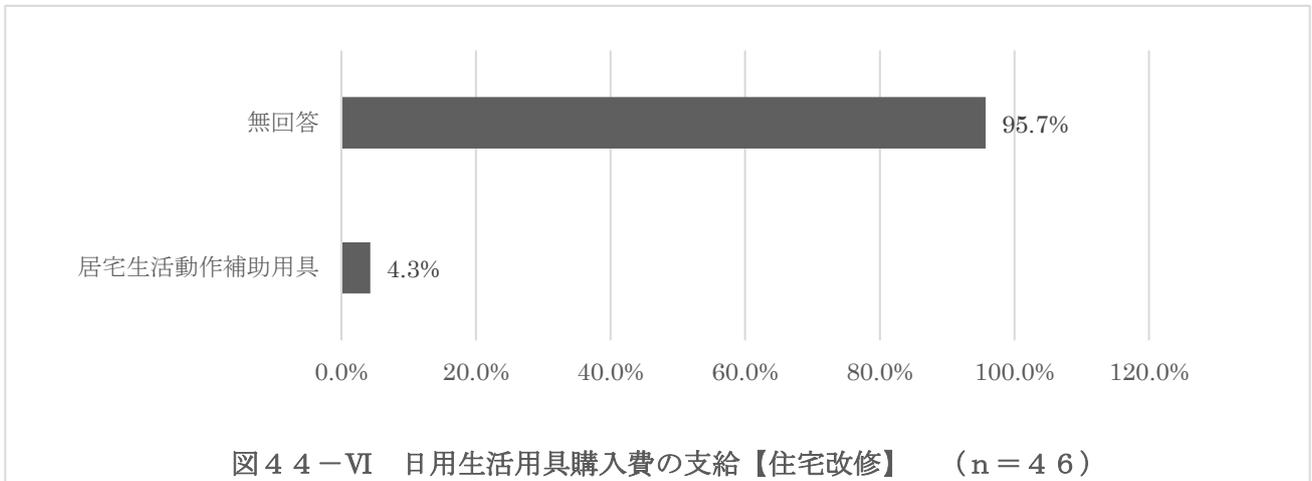


「居宅生活動作補助用具」が4.3%となっている。

表 4 4 - VI 日用生活用具購入費の支給【住宅改修費】

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

居宅生活動作補助用具	無回答
2	44
4.3	95.7



【福祉サービス等について】自由記述

・父が長期間海外赴任します。祖父母は高齢のため、あまり負担はかけられませんが、とても協力的です。しかし、もっと確実にサポートして頂ける方がいてくれたら安心です。ワンオペ育児になり、3人も子供がいるのでサポートをして頂きたいところです。

・発達障害のお子さんは放デイなどのサービスを利用できるが（利用できる所が多い）身体障害の子はなかなか見つからない。身体障害の子も利用しやすいデイサービスがあると助かる。（以前、利用したい所があり、見学に行きましたが身体障害で歩行ができないので利用は難しいと言われ辛かった。「〇〇ちゃんも歩けたらよかったのにね～」と言われた。

・日常生活用具の支給額が、実際のひとつひとつの商品価格とあまりにかけ離れていることもあり、見直しが行われたらと願っています。年数も決まっているため、成長期である子どもの今必要なものを購入するのにも支給を受けるか迷います。実際トイレチェアについては支給を受けず自費で購入しています。将来何が必要になるかを見極めながら、福祉サービスをどう使うかを考えなければならないのは少々負担です。特に進行性の病気のため、数年後の状況がわからず、悩むことも多いです。もちろん、様々な面で生活を支援していただいていること、大変ありがたく思っていますが、サービスを利用する側の立場でもう少し考えられているとさらに助かります。

・障害児（者）生活サポート、土日はできないと契約を断られる。事業所を増やして欲しい。

・パルスオキシメーターの給付基準についてです。現行では、気管切開や人工呼吸器の使用があつて支給を受けられるようですが、娘のように酸素を使用する必要が生じた時点でパルスオキシメーターも必要とするのが通常の医療的ケアになります。基準額の設定を2段階に分けるなど、せめてクリップ式の機種が購入が可能になると本当に助かります。

※10万円以上するような高性能のタイプでなくて良いので

・利用したい時に事業所が無く、日程調整も大変なので活用がしづらい状況があります。又、地域をまたがるサービスに制約がいろいろとあり利用できないケースもあります。自宅以外でも仕事先や実家などのある地域であれば利用できるような制度に見直しをして欲しいです。

【福祉サービス等について】自由記述

・子供の身体が大きくなり支援が必要になった時、居宅介護で最初をお願いするのは入浴です。障害児の食事や身の回りの世話はまだ親ができるからです。子供の身体が大きくなると母1人では抱きかかえることはできなくなります。入浴に関わる介助（更衣、移乗、移動等）を全て母1人では困難になっていきます。しかし、相談支援を通して利用できる居宅介護を探しますが、子供（障害児支援）をしたことがないという事業所がとても多い。高齢者に比べ障害を対象に支援を行っている事業者が少ないのだから、大人の障害者で利用出来る枠は埋まり、子供が入る余地はないので、見つかるまでに大変苦勞をします。高齢者だけを対象としている訪問介護事業者に障害も対象に支援を行ってもらえるように働きかけをできないでしょうか？相談支援や自立支援協議会などが中心となってホームヘルプサービスを行う事業所が高齢者、障害者、障害児全てを対象として支援ができるように全体的な供給について考えて欲しい。また、訪問入浴の営業時間は子供たちが学校やデイに行っている時間で終わってしまい利用できない。元々、高齢者を主にして考えられているからだと思う。訪問入浴を利用するために学校を早退したり休むことは本末転倒であるので、子供たちも利用できるような営業時間にして欲しい。

・サービスはまだあまりいろんなものは利用していませんが、利用しているもの、どれ1つ取っても負担金があることが不満というか（本来健常なら使わないものばかりなのに）シャワーを利用していますが、本人のような障害を持った子を受け入れる施設が近くにないこと。あったとしても18才～など、利用しても本人が喜ぶとまでは言いませんが、行きたくない場所と感じる施設ばかりでした。何かあった時のために慣らせるため（お互い）に利用していますが、職員さん達が疲れ切った顔で迎えるのではなく、笑顔で迎えてくれるような施設があったらいいなと思います。

・医療的ケアを必要とする場合、利用できる事業所が少なく、見つけても定員でいっぱい利用できない。

・所得制限があり自己負担が大きい。所得制限を無くして欲しい。それか引き上げて欲しい。